

平成24年11月27日
新東名(静岡県)インパクト調整会議
(国土交通省中部地方整備局
NEXCO中日本東京支社
静岡県岡部市
静岡市
浜松市)

新東名高速道路 御殿場JCT～三ヶ日JCT間
開通後6ヶ月間の交通状況および整備効果【第4弾】

新東名沿線の観光・休憩施設では県外からの集客が拡大し、滞在時間も延長!!
新東名に接続する三遠南信・伊豆縦貫道もネットワーク効果が発現!!

新東名高速道路の静岡県内区間のうち、御殿場JCTから三ヶ日JCTまでの約162kmが、平成24年4月14日(土)15時に開通しました。
このたび、「新東名(静岡県)インパクト調整会議」(会長:国土交通省中部地方整備局 道路部長)において、開通後6ヶ月間の交通状況および整備効果を取りまとめましたので、第4弾としてお知らせします。

<ポイント>

- 新東名高速道路の開通により、高速IC(インターチェンジ)30分圏域が拡大し、新東名沿線の観光・休憩施設では、県外からの集客が拡大するとともに、滞在時間も延長しています。
新東名沿線の観光・休憩施設管理者は、新東名開通後に県外からの利用者の増加を実感しています。
- 新東名に接続する三遠南信自動車道の開通により静岡県内人口の約7割、愛知県内人口の約9割の方々が鳳来峡ICに90分以内に到着できるようになりました。
道の駅「信州新野千石平」^{しんしゅうにいのせんごくだい}では、休日の買い物客数が約5割増加し、「県外からの来客が増えた」との施設管理者の声もありました。
- 新東名に接続する伊豆縦貫自動車道が次年度新たに開通(延伸)することにより、伊豆地域のICから30分以内で到達できる地域が約2倍に拡大します。
南伊豆地域の観光施設からは、ネットワーク接続による新東名との相乗効果に期待する声が聞かれます。

同時発表 (資料配付)	国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会、中部地方整備局記者クラブ、中部経済産業記者会、静岡県政記者クラブ、静岡県社会部記者会、静岡市政記者室、浜松市政記者クラブ、沼津記者会、神奈川県政記者クラブ、都庁記者クラブ、愛知県政記者クラブ、豊橋市政記者クラブ、新城市政記者クラブ、飯田市役所記者クラブ
お問い合わせ先	国土交通省 中部地方整備局 道路部 地域道路課 課長 棚橋 真澄 建設専門官 伏木 章尋 TEL 052-953-8170 (直通)

1. 新東名・東名のICアクセス圏域および沿線観光・休憩施設の集客圏の拡大

- ・新東名の開通により、新たな高速IC30分圏域が拡大し、新東名、東名どちらからも30分となる圏域が広がっています。
- ・新東名沿線の観光・休憩施設管理者は、新東名開通後に県外からの利用者の増加を実感しています。

■新東名・東名のICアクセス圏域



はままつフルーツパーク



浜松SAスマートICからフルーツパークまでの行き方に関する問い合わせが増えました。



富士山せせらぎ広場



新東名が開通し、県外からの来客が多くなったが、もっと増やしたい。



道の駅「川根温泉」



川根の良さを県外の方に知ってもらい宿泊客も増やしたい。



道の駅「玉露の里」



新東名が開通し、県外からの来場が増加したと感じている。

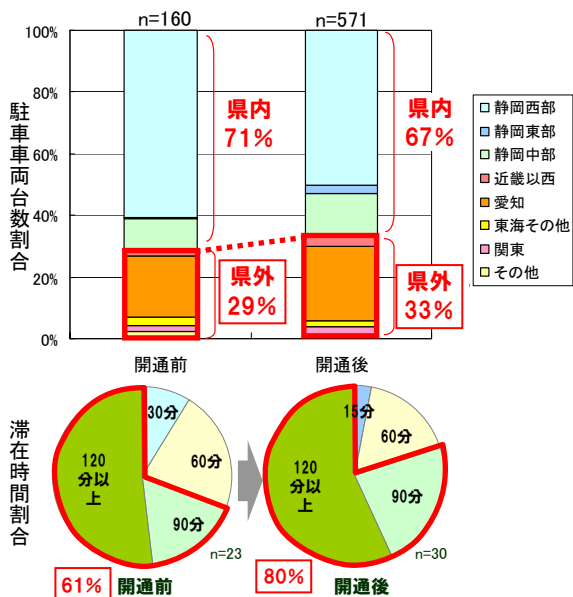


出典：施設管理者ヒアリング

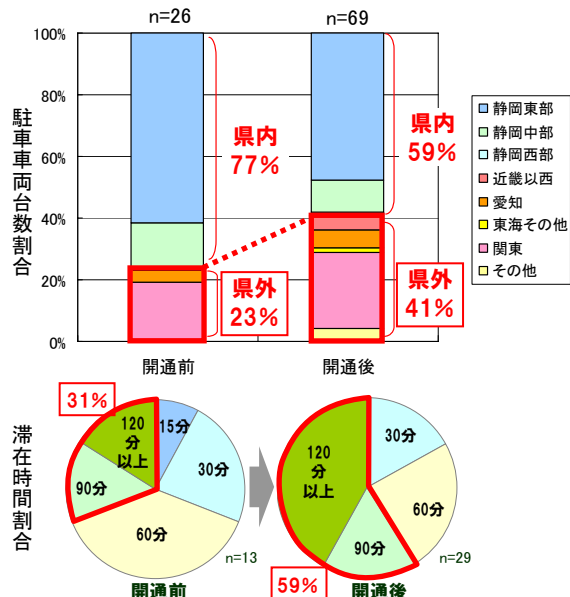
- ・ 新東名沿線の観光・休憩施設では、開通後の集客圏が拡大、これまでより県外地域からの集客が多くなっています。
- ・ 各施設の利用者アンケート結果では、昨年に比べ滞在時間が長くなっています。

■新東名沿線の観光・休憩施設の駐車車両と滞在時間の変化

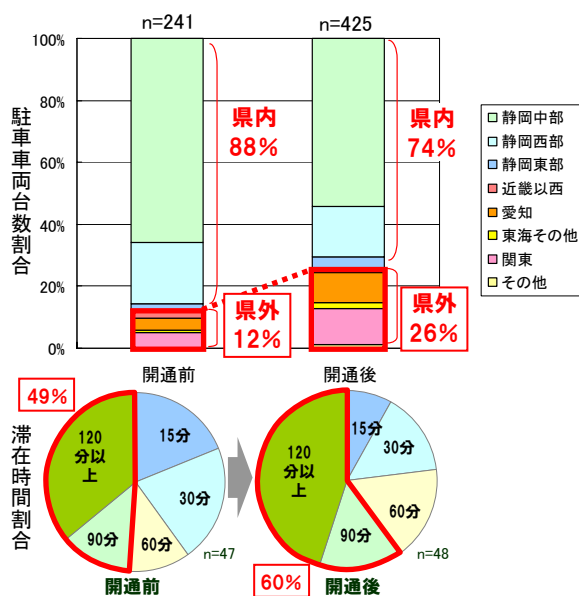
はままつフルーツパーク



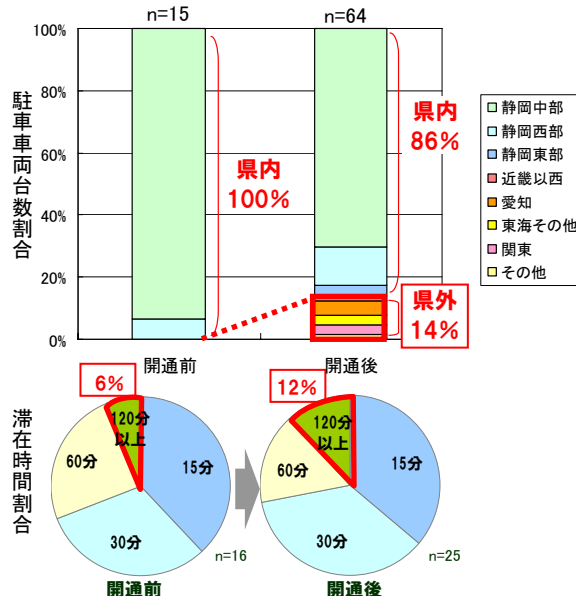
富士山せせらぎ広場



道の駅「川根温泉」



道の駅「玉露の里」



出典：国土交通省 中部地方整備局・浜松市 車籍地・利用者アンケート調査結果

開通前：平成23年11月20日（日）アンケート配布・車籍地調査（14時台）

開通後：平成24年 9月23日（日）アンケート配布、10月7日（日）アンケート配布・車籍地調査（14時台）

2. 新東名に接続する三遠南信自動車道の変化

- ・ 新東名・三遠南信自動車道の開通により日帰り観光圏が拡大し、鳳来峡ICからの60分圏交流人口は、静岡県内で約5倍、愛知県内で約2倍、90分圏交流人口は、静岡県内、愛知県内ともに約2倍に増加しました。
- ・ これにより静岡県内人口の約7割、愛知県内人口の約9割の方々が、鳳来峡ICに90分以内で到達できるようになりました。

■三遠南信自動車道の鳳来峡ICの60分圏域の拡大



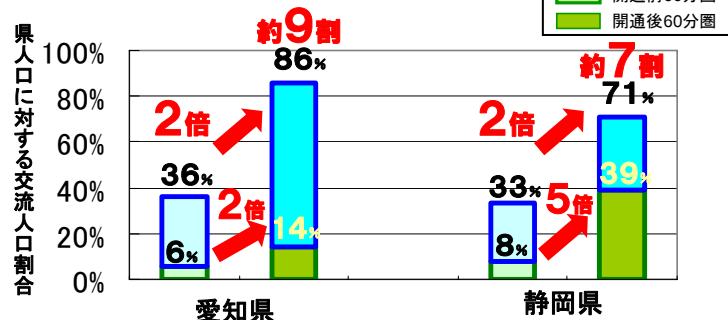
■三遠南信自動車道の鳳来峡ICの90分圏域の拡大



■鳳来峡ICの交流人口の拡大



三遠南信自動車道から新東名高速道路を望む



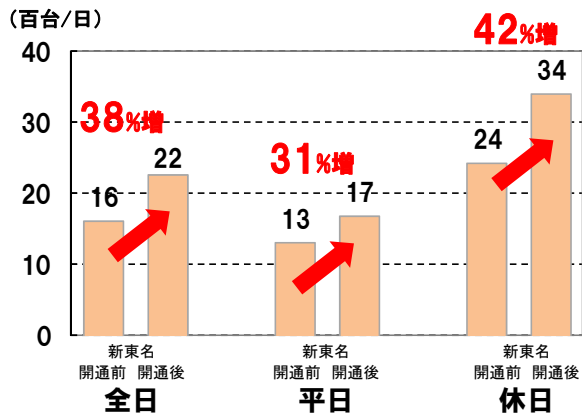
※国土交通省 中部地方整備局による民間プローブデータを用いた集計結果（休日12時間の平均旅行速度）

開通前：平成23年6月

開通後：平成24年6月

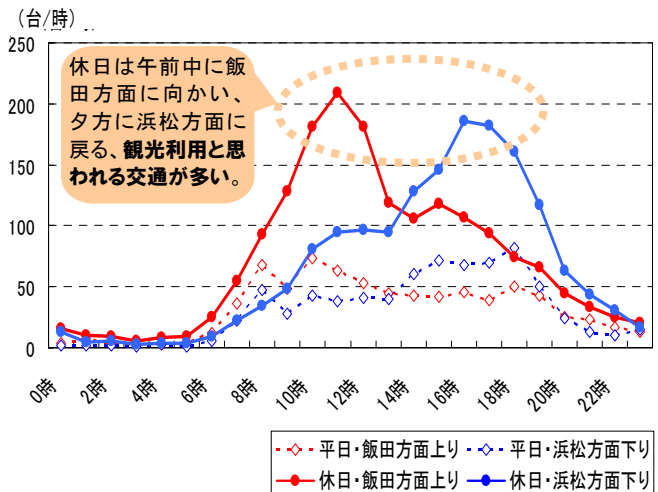
- ・ 三遠南信自動車道の休日交通量の時間変動は、午前中に鳳来峡 I C 方面へ向かう交通が多く、夕方に掛け浜松いなさ J C T へ向かう交通が多くみられました。
- ・ 道の駅^{しんしゅうにいの せんごくだいら}「信州新野千石平」では、休日の買い物客数が約 5 割増加し、「県外からの来客が増えた」との施設管理者の声もありました。

■三遠南信自動車道の交通量



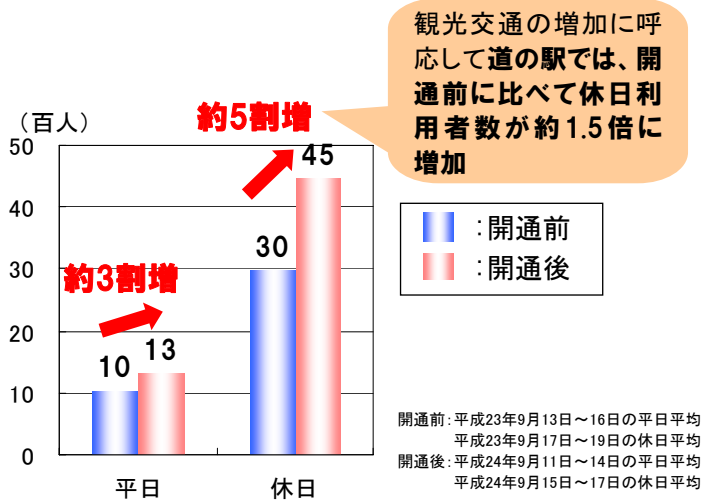
出典：国土交通省データ
 開通前：平成24年3月 5日（月）～4月13日（金）
 開通後：平成24年4月15日（日）～10月14日（日）

■三遠南信自動車道 平・休別、時間帯別交通量

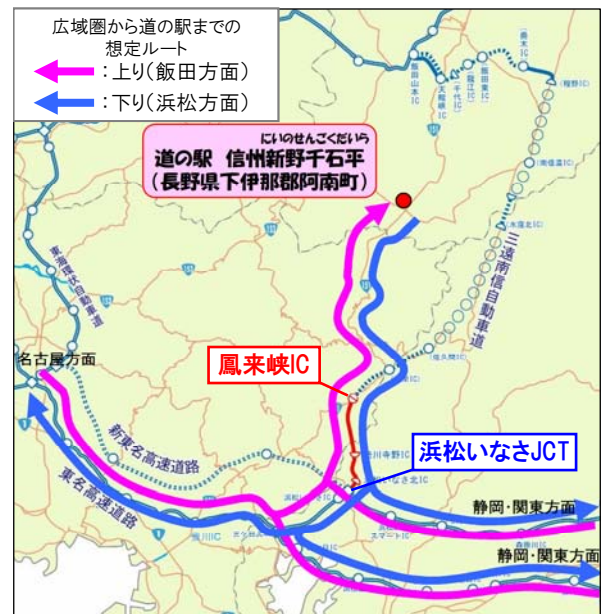


出典：国土交通省交通量計測データ
 平日：平成24年9月11日（火）～9月14日（金）
 休日：平成24年9月15日（土）～9月17日（月・祝）

■道の駅^{しんしゅうにいの せんごくだいら}「信州新野千石平」買い物客数の変化



出典 道の駅運営者ヒアリング



新東名開通後は、静岡県方面や関東方面、愛知県方面と広域から利用者が増えました。



出典 道の駅運営者ヒアリング

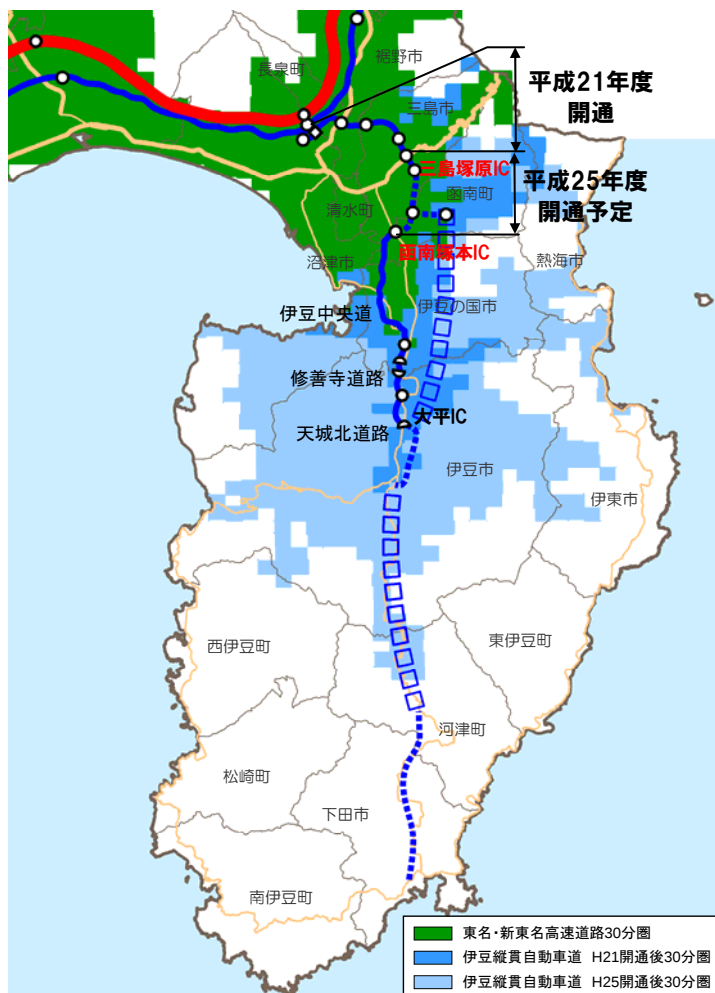


3. 新東名に接続する伊豆縦貫自動車道の変化

- 平成21年度に伊豆縦貫自動車道 沼津IC～三島塚原IC間が開通しましたが、伊豆地域※のIC30分圏域は、全体の約2割に留まっています。
- 平成25年度に三島塚原IC～函南塚本IC間が開通(延伸)すると、大平ICまで道路ネットワークが繋がり、IC30分圏域は約2倍に拡大し、伊豆地域全体の約4割の地域がICから30分以内で到達できるようになります。

※ここでの伊豆地域は、沼津市、熱海市、三島市、長泉町、函南町以南の市町を対象としています。

■伊豆縦貫自動車道によるIC30分圏域の変化



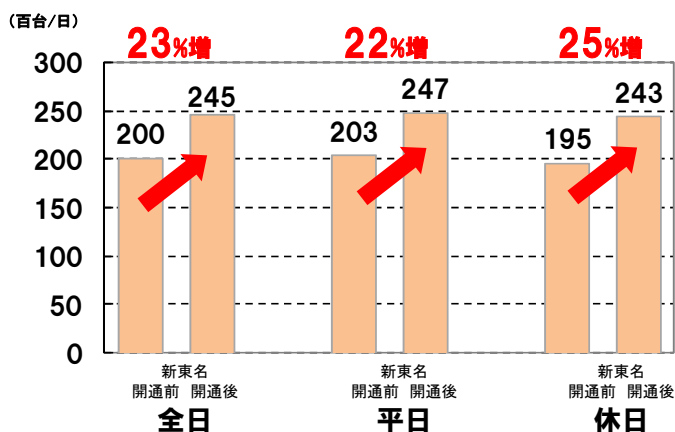
※国土交通省 中部地方整備局による民間プローブデータを用いた集計結果

(平成24年6月 休日12時間の平均旅行速度)

H21開通後30分圏: 平成21年度開通区間(三島塚原IC)からの30分圏域

H25開通後30分圏: 平成25年度開通予定区間を含め伊豆中央道+修善寺道路+天城北道路(大平IC)からの30分圏域

■伊豆縦貫自動車道の交通量



出典: 国土交通省データ

開通前: 平成23年4月17日(日)～10月16日(日)

開通後: 平成24年4月15日(日)～10月14日(日)



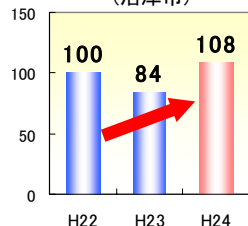
三島塚原ICから平成25年度開通予定区間を望む

- ・伊豆半島の玄関口にある主要な観光施設において、入り込み客が増加傾向にある一方、南伊豆地域の施設では、横ばいもしくは減少傾向にあります。
- ・南伊豆地域では、平成25年度開通予定の三島塚原IC～函南塚本IC間と伊豆中央道とのネットワーク接続による新東名との相乗効果に期待する声が聞かれます。

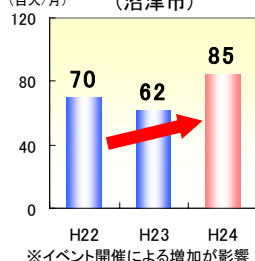
※昨年は東日本大震災の影響により、全体的に減少傾向

■静岡県東部地域の主要観光施設の入込み客数の変化

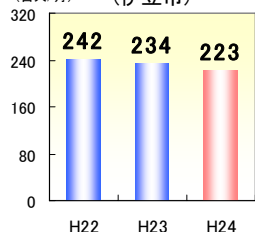
大型展望水門びゅうお
(沼津市)



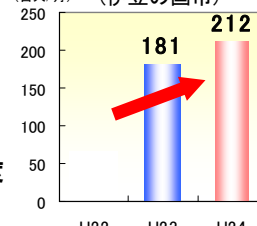
あわしまマリンパーク
(沼津市)



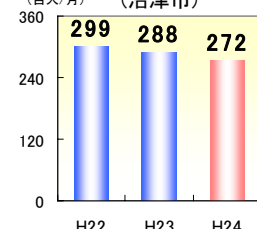
修善寺 虹の郷
(伊豆市)



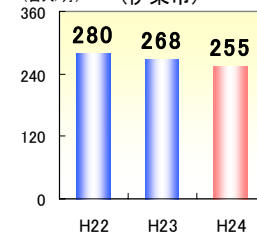
伊豆の国パノラマパーク
(伊豆の国市)



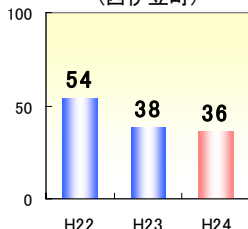
伊豆・三津シーパラダイス
(沼津市)



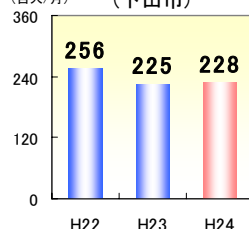
伊豆シャボテン公園
(伊東市)



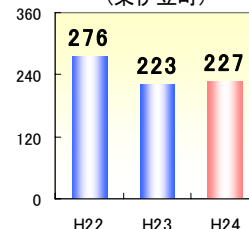
らの里堂ヶ島
(西伊豆町)



下田海中水族館
(下田市)



伊豆アニマルキングダム
(東伊豆町)



出典：観光施設アンケートによる入り込み客数（カウント方法は各観光施設による）
平成22年～平成24年の4月～9月（各年5ヶ月間）
伊豆の国パノラマパークは、H23からカウント開始



下田海中水族館 提供

・平成25年度には伊豆縦貫自動車道が開通し、伊豆中央道との接続による時間短縮が見込めます。これによる新東名との相乗効果に期待しています。



出典：下田海中水族館ヒアリング